

秦野市ごみ減量通信

第 9 号

平成 21 年 1 月 28 日発行

発行 秦野市清掃事業所業務管理班（秦野市名古木 409） 電話：82-4401（直通）
粗大ごみ受付電話：82-0053 FAX：84-6744 E-mail：seisou@city.hadano.kanagawa.jp

市民の皆さんに、秦野市のごみの現状を知ってもらい、ごみ減量等の大切さを理解していただくため、『秦野市ごみ減量通信』を発行しています。

◆ ごみ処理の経費 年間18億2千万円

市民の皆さんの家庭から出されるごみ処理に、年間『約18億2千万円』の税金が使われています。市民1人当たりに換算しますと、年間『約1万1千円』のお金がかかっています。

年度	年間	一人当たり
17年度	17億2582万円	10,253円
18年度	18億2218万円	10,809円
19年度	18億1876万円	10,758円

◆ 年度別ごみと資源物の収集状況

年 度	市が収集したごみと資源物の重量			自己搬入 ごみ量	許可業者 収集量	合 計	1人1日当たり ()は可燃ごみ量
	可燃ごみ	不燃・粗大ごみ	資源物				
17	32,419.4 t	2,335.4 t	10,709.2 t	903.2 t	8,797.5 t	55,164.7 t	898 (528) g
18	32,636.2 t	2,427.5 t	10,568.8 t	878.5 t	8,729.1 t	55,240.1 t	898 (530) g
19	31,941.8 t	2,271.3 t	10,265.4 t	1,000.2 t	8,394.6 t	53,873.3 t	873 (518) g

※ 1人1日当たりの量は、美化清掃ごみ、不法投棄ごみを除いたものです。

◆ 秦野市では、ごみ処理基本計画を策定し、ごみの減量・資源化を進めています。～市民の皆さんのご協力をお願いします。～

市民一人1日当たりの減量目標

平成23年度までに約60g、平成33年までに約200gの減量を目指しています。



平成23年度までの減量目標
*いちご5個分（約60g）



平成33年度までの減量目標
*ご飯一膳分（約200g）

すぐに取り組める『可燃ごみ』の減量方法

ごみの減量には、毎日の積み重ねが必要です。

★ 可燃ごみと資源物を分別しましょう！

可燃ごみに、資源物が混じっていませんか？

紙袋（紙以外のとっては外す）、包装紙、封筒（ビニール部分は可燃ごみ）、ハガキなどは、『資源物』です。

雑誌と一緒にしばって出して下さい。

小さい紙は雑誌の間に挟んで出して下さい。



★ 生ごみの『水切り』を徹底しましょう！

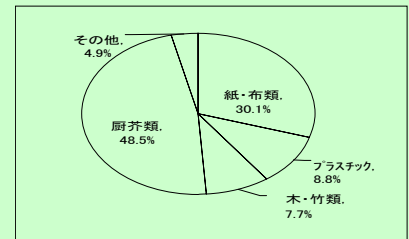
生ごみは80%以上が水分です。

三角コーナーなどを利用して十分水切りをし、袋に入れる前に、もう一絞りをお願いします！



ごみの減量ワンポイント

可燃ごみの中身は？

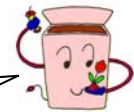


可燃ごみの約半分は厨芥類（生ごみ）です。生ごみを減らすことが可燃ごみの減量につながります。

★ 生ごみ減量のため、生ごみ処理機の利用にご協力を！

秦野市では、購入費の1/2（上限4万円）を補助しています。

詳しくは清掃事業所資源化推進班（82-9619）まで



生ごみの減量にご協力下さい。

生ごみ処理機キャラクター『エコくん』

ご利用ください！ ～～資源物の拠点回収～～

ペットボトル以外の「容器包装プラスチック」については、清掃事業所、公民館（本町・大根・堀川公民館を除く）と大根及び本町地区のストックハウスに、「古紙」と「衣類」については、清掃事業所、大根及び本町地区のストックハウスに自己搬入することができます。

搬入場所	搬入日時	持ち込める資源物
清掃事業所ストックハウス （名古屋409）	年末年始を除く毎日 8時35分～17時	ペットボトル以外の容器包装プラスチック、古紙、衣類
公民館（本町・大根・堀川を除く）	開館日の8時30分～17時	ペットボトル以外の容器包装プラスチック
大根地区ストックハウス （南矢名1020-3 ライオンズマンション東海大学前隣地）	年末年始を除く毎日 8時30分～17時	ペットボトル以外の容器包装プラスチック、古紙、衣類
本町地区ストックハウス （寿町8番 県道堀山下秦野停車場線沿い）	月～金曜日（祝日及び年末年始を除く） 8時30分～17時	ペットボトル以外の容器包装プラスチック、古紙、衣類



清掃事業所ストックハウス

